

宮古島市の健全化判断比率

宮古島市の令和2年度決算に基づく各数値は…

○「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」のいずれの指標も早期健全化基準(イエローカード)を下回る水準、「資金不足比率」の指標は、経営健全化基準を下回る水準となっており、健全であるといえます。

指標	宮古島市		早期健全化基準	財政再生基準	備考
	令和2年度	令和元年度			
①実質赤字比率	—	—	12.55%	20.0%	一般会計等の実質収支は約20.4億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
②連結実質赤字比率	—	—	17.55%	30.0%	全会計の実質収支は、約34.9億円の黒字となっています。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。
③実質公債費比率	7.5%	7.2%	25.0%	35.0%	比率は前年度より0.3%増の7.5%で、早期健全化基準を下回っています。
④将来負担比率	49.5%	20.6%	350.0%		比率は前年度より28.9%増の49.5%で、早期健全化基準は大きく下回っています。
⑤資金不足比率	—	1.6%	経営健全化基準 20.0%		公営企業会計毎の資金不足額の事業規模に対する比率です。 ※「—」の表示は、黒字を示しています。

○早期健全化基準

健全化判断比率の4指標(①～④)のうち、いずれかが早期健全化基準以上となった場合は、当該健全化比率を公表した年度の末日までに「財政健全化計画」を定めることとなっています。

○財政再生基準

「将来負担比率」を除く健全化判断比率の3指標(①～③)のうち、いずれかが財政再生基準以上となった場合は、当該再生判断比率を公表した年度の末日までに「財政再生計画」を定めることとなっています。

宮古島市の実質収支・連結実質収支の状況

約20.4億円
の黒字

(単位:千円)

区分	対象会計	実質収支額		
		令和2年度	令和元年度	増減(R2-R1)
連結実質赤字比率 の対象	① 一般会計等 (再生可能エネルギー運 営事業特別会計含む)	2,040,631	1,830,722	209,909
	② 国民健康保険事業 特別会計	243,734	0	243,734
	③ 介護保険特別会計	181,138	111,076	70,062
	④ 後期高齢者医療 特別会計	△ 1,444	2,046	△ 3,490
	⑤ 水道事業会計	1,019,160	937,267	81,893
	⑥ 公共下水道事業 特別会計	0	0	0
	⑦ 農業集落排水事業特別 会計	3,604	0	3,604
	⑧ 漁業集落排水事業特別 会計	2,618	0	2,618
	⑨ 港湾事業特別会計	0	474,628	△ 474,628
	⑩ 土地区画整理事業特別 会計	0	0	0
計(①~⑩)	連結では約34.9億 円の黒字	3,489,441	3,355,739	133,702
⑪ 標準財政規模		18,903,790	19,017,894	△ 114,104
実質赤字比率(%) : ①/⑪		-	-	-
連結実質赤字比率(%) : (①~⑩)/⑪		-	-	-

実際の報告様式に基づき「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」は「-」で表示されていますが、黒字であることを意味しています。